MOTEGI
Social Welfare Council
茂木町社会福祉協議会

令和８年１月号

すべての人とつながる
社会福祉協議会広報紙 Vol.150

発行：茂木町社会福祉協議会　63-4969
障がい者生活支援センター　63-5155
ともだち作業所　63-4770

11/8 福祉まつり2025の様子（赤い羽根共同募金 募金箱コンクール表彰式）

秋晴れの吉日 福祉まつり 2025

▲バルーンゲートが来場者をお出迎え

▲くじ引き景品と福引き抽選券の配付

▲民生委員・児童委員バザー

▲婦人ボランティアバザー

▲車イス体験

▲介護機器・AI ロボット展示（善光会：初参加）

▲輪投げ体験

▲ラージボール体験

▲アキュラシー体験

多くの方々のご支援・ご来場、誠にありがとうございました。

大盛況にて開催いたしました

▲ともだち作業所販売

▲とれたて野菜販売・子どもの八百屋さん

▲ステージ発表（老人クラブ発表会）

▲盲導犬 PR ブース

▲空き缶炊飯（帝京大学防災サークル ERSU：初参加）

▲豚汁やドーナツに舌鼓

▲第１回赤い羽根共同募金箱コンクール優秀賞

▲エンディングセレモニー福祉福引き

また、来年お会いできることを楽しみにしております。

茂木町ボランティア

地域とのふれあいを

加盟団体募集中！

茂木町において明るく住みよい地域づくり、町づくりのために活動するボランティア団体を募集しています。地域でのつながりと住みやすい町づくりのため一緒に活動してみませんか？

NPO 法人さかがわ

理事長　安藤　信子

「ふつうにくらすしあわせ」を掲げて発足 20 年が経ちました。これも地域と関係機関の皆さまのご支援、ご協力があってのことと、深く感謝を申し上げます。これからも皆さまにお世話になりながら、地域の一員として行事、お祭りなどに参加し交流を深めるとともに、高齢者等の見守り活動を継続してまいります。

NPO 法人茂木町配食サービスセンター

理事長　大越　文子

私たちは毎日の配食と見守りの他に、別部門として各家庭を訪問しごみの収集も行っています。当初は不燃及び資源ごみ等をステーションまで運べない人のために登録料 500 円のみで定期的に実施していましたが、現在は可燃ごみも収集し、対象の利用者に喜ばれています。美しい茂木町のために、今後も継続できるようがんばりたいと思います。

大きくなぁれ かんか かんか

代表　清水　文雄

お子さんから高齢者までどなたでもお迎えしているみんなの台所では、いっぱいおしゃべりし、おなかいっぱい温かいご飯を食べ、「来てよかった、今日も１日幸せだった」と感じていただけるよう考え皆さまのお越しをお待ちしています。また多くの町民の方の温かいご支援で成り立っている食堂です。たくさんの皆さまのお越しを、スタッフ一同心よりお待ちしております。

茂木・中川・逆川・須藤郵便局

茂木郵便局長　秋山　豊

ボランティア活動や地域活動に参加することにより、地域のために必要なことや、役立てることは何かを感じとることができます。郵便局が地域での役割を担えるよう、一人ひとりが意識を高めて、様々な活動に参加してまいります。高齢者の方や地域の方々に寄り添い、安心して暮らすことのできる町づくりの一助になればと考えています。

茂木町手作りボランティア

代表　根本　純子

今年の手作り品は、寄付や会員の持ち寄りの質の良い反物を使い、物入れを製作いたしました。「バッグのお伴」のネーミングとチラシで、一段と見栄えがするプレゼントになりました。バッグの中の小物入れとしてご利用ください。手元に眠っていた手作り品を、景品や手土産品に活用として喜んでいただきました。来年も、役立つ手作り品を製作してまいります。

はが野農業協同組合茂木支店

支店長　森　大規

毎月の広報誌配布時や業務での管内の高齢者世帯・高齢者ひとり暮らし世帯の組合員宅を訪問しています。その際に明らかな異変を感じた場合や管内で自然災害による重大な路面破損や危険箇所があった場合は、各行政窓口へ連絡する見守り活動を実施し、安心して暮らせる地域づくりのお手伝いをさせていただいております。

栃木銀行茂木支店

支店長　阿部　剛士

地域ボランティアに参加することで地域の皆さまとともに支えあい、交流する地域社会づくりが進むきっかけとなり、コミュニティの絆を強くすることになります。既存のしくみや発想にとらわれず、新しい問題解決方法や社会的な課題に対する先進的な取り組みを促進し、茂木町の皆さまに寄り添った活動を持続的にしてまいります。

連絡協議会
大切に活動しています

茂木町ボランティア連絡協議会加盟団体の皆さんに、今年度の活動についてご紹介いただきました！

茂木町ボランティア連絡協議会

会長　羽石　園江

今年も異常気象に悩まされた年でした。各ボランティアの活発な活動に感謝を申し上げます。少子高齢化、生活形態の変化に伴い様々な問題が生じている中、訪問、見守り、傾聴することが大切だと思います。これからも地域の皆さま方や関係機関と連携を取り合うとともに、研修会などを開催し、知識を得ながら活動をすすめてまいります。

茂木町見守りボランティア

副会長　涌井　俊一

今年は台風の関東地方上陸もなく比較的災害の少ない年となりましたが、地域の高齢者世帯は増加傾向で、見守り活動は以前に増して欠かせないものになってきています。そのような中、会員の皆さまの地道な見守り活動の実施のおかげで大きな事件事故もなく、高齢者の方々の安全な生活が確保できました。今後も会員一同真摯に活動を続けてまいります。

茂木介護ボランティア「ひまわりの会」

会長　安藤　信子

今年度は、デイサービスあきやま様、うぐいすの杜様、ききょうの里様へのレクリエーション、繕いもの等の訪問、那須方面への研修旅行、福祉まつりへの参加等、予定通り実施できました。施設の方々に喜んでいただけることがやりがいにつながっているので、楽しいことを継続してまいります。

介護者家族の会　すまいる会

代表　山形　マサ子

本会は、すまいるカフェとして毎月第３木曜日、午後１時３０分から午後３時までふれあいの家で保健福祉課の協力を得て実施しています。衣食住対処、医療機関対処、介護器具対処など介護経験者、また介護に関心のある方々と自由に語り合える場を開設していますのでひとりで悩まずお気軽にお出かけください。

足利銀行茂木支店

支店長　水村　聡

ボランティア活動に参加することをきっかけとして、なるべく多くの地域活動や行事に参加させていただいております。活動をとおして出会えた地域の皆さまとの繋がりとふれあいを大切にして、これからも安心、安全な茂木町づくりに積極的に参加してまいります。

もてぎふれあいの家

会長　根本　純子

高齢者の生きがいづくりをめざし週３回開所しています。誰でも気軽に立ち寄り、おしゃべりしています。趣味の作品作り、介護予防体操と脳トレ、歌とハンドベル、スマホ教室、ｅスポーツなど楽しく利用していただきました。今後も保健福祉課、社協と連携し、スタッフ同士互いに支えあって皆さまの交流の場を提供していきたいです。

烏山信用金庫茂木支店

支店長　谷田部　俊範

地域とともに未来へ向けて活動し、地域社会の発展に貢献することが私たちの経営理念であることから茂木町のボランティア活動に参加させていただけることは大変嬉しいことです。見守り訪問活動に参加しましたが、地域の方と交流を深めることができました。今後も微力ではありますが活動していきたいと思います。

栃木県立茂木高等学校

校長　保坂　光雄

本校生は、地域の一員として町の様々なボランティア活動に参加させていただいております。地域の皆さまの温かいご支援のもと、社会に貢献する心を学び、協力する喜びや思いやり、そして責任感を育んでいます。今後も地域の皆さまへの感謝を忘れず、「地域とともに歩む学校」をめざし、積極的に取り組んでまいります。

災害ボランティアステップアップ研修

～今、何ができるのかを考えるために～

活動日時　2月28日(土)
午前 10 時から午後 0 時 30 分まで

場　　所　元気アップ館

参加者・協力者
・災害時にボランティアとして活動意欲がある方
・災害ボランティアセンターの運営に興味がある方

内　容

講　座　災害ボランティアセンターの基礎知識

職員レポート　そなエリア東京体験レポート

ワーク　～命を守るための優先順位～
マイタイムラインを作成し、災害時に協力し合おう

調理体験　～災害時にもおいしい食事は摂れるんです～
防災食を作って食べてみよう

申込期日
1月30日(金)までに茂木町社会福祉協議会にご連絡ください。

ねらい

能登半島地震から 2 年。大規模地震の頻発化や、環境変化による豪雨災害の発生など、いつ起こるか分からない状況だからこそ、多くの方に災害ボランティアセンターの役割を知ってもらい、誰もが支援者となれる体制づくりをめざします。

下半期非常時に備えた見守り訪問
ボランティア募集中！

ご近所に住むひとり暮らし高齢者、障がい者世帯を見守り訪問するボランティアを募集します。住みよい地域づくりのために、皆さまのご協力をお願いいたします。

訪問期間　2月9日(月)～2月27日(金)の期間内で、都合のよい日時

内　　容　社会福祉協議会が用意した非常食をもって、ご近所で訪問したい世帯に物品を配付していただきます。

申込期日　1月21日(水)までに茂木町社会福祉協議会にご連絡ください。

就学のための貸付制度

生活福祉資金貸付制度とは

他の貸付制度が利用できない、低所得世帯や障害者世帯などの経済的自立と生活の安定をめざし、民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口になって生活支援を基本に、無利子や低利子で資金貸付を行っています。

◇ 教育支援資金について

学費等の捻出が困難な低所得世帯に対し、高等学校や大学等への入学や在学中に必要な経費を貸付し、就学と将来の就労を支援する制度です。

◇ 対象となる世帯

・低所得世帯(生活保護世帯を含む)

進学・在学にあたり、その学費等の捻出のため他から融資を受けることが困難、または融資を受けても進学・在学が困難な世帯

◇ 借受人と連帯借受人

①貸し付けを受ける借受人(借入申込者)は進学・在学する学生本人です。
②借入申込者とともに、連帯借受人が必要です。
③連帯借受人は、原則として、借入申込者の親権者で、借入申込者が属する世帯の生計中心者です。

◇ 貸付相談と申込み

①相談や申請の窓口は社会福祉協議会です。
②借入申込みの相談は、進学先が決定(合格発表)する前でも行うことができます。その場合、合格後に必要な費用が算出できる状況であることが必要です。
③借入申込みから審査・決定までには1ヵ月程度、その後、送金までにも日数を要します。学校への支払期日の前に送金を受けられるよう、計画的に相談、申込みを行ってください。
④本資金のご利用にあたっては、他の融資・給付制度の利用が優先となります。これらが利用できるか必ず確認のうえ、ご相談ください。

寄付の報告

令和７年に寄付いただきました社会福祉事業基金を報告します

連合栃木芳賀地域協議会　様

メーデー福祉カンパ金　　１１，１０６円

天昇堂友の会「平安」　様

チャリティゴルフ大会益金　１３３，０００円

古河ヤクルト販売株式会社　様

福祉ヤクルト寄贈　　２４，０００円

ご寄付いただき、ありがとうございました

善意の登録

◎ 活動内容

自宅で不要となった物品、食料品、家具・家電など、ボランティアとしてやりたいことや、できる技術、知識、アイデアなどを事前に登録しておくことで、必要になった方への支援や、地域福祉事業活動をする際の声かけをスムーズに進めることができます。

◎ 必要としている物品

◆ガスコンロ(2-3 口付き)
◆布団一式
◆賞味期限 6 か月以上の食料品

ご協力よろしくお願いします

令和8年度　茂木町社会福祉協議会　職員募集

福祉活動指導員及び事務職員・生活相談員（嘱託職員）

◎ 仕事内容　地域の見守り活動や福祉活動事業に係る事務・経理業務、または障がい児者の支援に関する業務

◎ 就業時間　午前８時 30 分～午後５時 15 分

◎ 勤 務 地　茂木町社会福祉協議会事務局または茂木町障がい者生活支援センター

◎ 賃金（月額）170,000 円　通勤手当、賞与年２回

◎ 雇用期間　令和８年４月１日から令和９年３月 31 日まで

看護職員（嘱託職員）

◎ 仕事内容　ともだち作業所（B 型就労施設）利用者の健康観察・健康指導等

◎ 就業時間　午前８時 15 分～午後５時

◎ 勤 務 地　ともだち作業所

◎ 賃金（月額）220,000 円

◎ 雇用期間　令和８年４月１日から令和９年３月 31 日まで

学童保育指導員（非常勤職員）

◎ 仕事内容　学童児童への保育指導や学習支援、室内・外遊び等の安全管理

◎ 就業時間　放課後（午後１時頃）～午後６時

◎ 勤 務 地　茂木町内の３学童保育室

◎ 賃金（時給）　1,068 円

◎ 雇用期間　応相談

＜申込方法＞

電話連絡の上「履歴書」を茂木町社会福祉協議会に持参してください。

＜締め切り＞

２月27日（金）17：00まで

＜問い合わせ＞

茂木町社会福祉協議会 63-4969

※ 労働条件等の詳細については、社協 HP にてご確認ください

直接リンク

みんなの団らんの場　子ども食堂「みんなの台所」

◇ 場　所　こんこん亭（STEP１ビル１階）

◇ 時　間　午後５時～午後７時

◇ 料　金　未就学児　無料

小・中学生 200 円

高校生以上 500 円

1月21日（水）の献立	海軍カレー、野菜サラダ、その他
2月18日（水）の献立	煮込みハンバーグ、おでん風煮物、その他

問い合わせ

090-3542-2475（清水）